

新型コロナ肺炎（COVID-19）がスモン患者に及ぼす影響の実態調査

豊岡 圭子（NHO 大阪刀根山医療センター脳神経内科）

藤村 晴俊（NHO 大阪刀根山医療センター脳神経内科）

研究要旨

スモン検診を受診された患者さんを対象に、新型コロナ肺炎の流行がスモン患者の医療・療養・生活・健康にどのような影響をもたらしたかを調査した。医療やりハビリに若干の影響があり、半数で運動量が減ったものの、治療を要するような身体的・精神的不調には至っていなかった。新型コロナ肺炎の感染者・濃厚接触者はいなかった。

A. 研究目的

2020年になって、新型コロナ肺炎（COVID-19）が世界的な流行をひきおこしている。新興感染症は高齢のスモン患者にとって重大な脅威である。新型コロナ肺炎の流行がスモン患者の医療・療養・生活・健康にどのような影響をもたらしたかを調査することは、今後の感染対策を考慮するうえでも重要と考えられる。

B. 研究方法

2020年9月から10月にかけてスモン検診を受診される患者さんを対象に、説明文書「新型コロナ肺炎（COVID-19）がスモン患者におよぼす影響の実態調査」を読んで頂き（必要に応じ、口頭で説明）、同意を得た。ご本人が難しい場合は、ご家族や介護者をお願いした。その後研究担当者が、質問用紙を用いて、口頭で質問しながら、聞き取りでアンケート調査を履行した。内容は、医療やりハビリ、栄養管理、サービス、生活、健康への影響などを含み、口頭で約20分程度を要した。この検診・調査に関しては大阪刀根山医療センターのIRBの承認を得た。

C. 研究結果

スモン検診を受診された7人全例に同意を得ることができた。年齢は72歳から90歳まで、平均80.9歳で全例女性だった。在宅5例、入所2例であり、1例は高度の認知症があった。独歩・杖歩行それぞれ2例、

押し車歩行・車いす・臥床それぞれ1例だった。介護度は、支援なし2例、要支援1が1例、要支援2が3例、要介護5が1例だった。合併症は内科、整形外科、眼科と多岐にわたっていた。

新型コロナ肺炎の医療への影響については、スモン患者は複数の医療機関を受診されていることが多いが、3か所中2か所の医療機関の受診回数を減らしていると回答された方が、1例おられた。

リハビリへの影響は、医療機関への受診回数を減らした1例は、リハビリ回数も減らしていた。また別の1例では、通っていたリハビリが中止となった。

栄養管理への影響は、6例が普通食、1例が易嚥下食を摂取しているが、これは流行の前後で不変だった。

サービスへの影響では、入所中の2例では、面会・外出制限はあるが、他のサービスはお変わりなかった。在宅の2例も、デイケアやヘルパー利用のサービスは継続できていた。3人はもともとサービスを利用していなかった。

生活への影響では、6例で外出を控えている、4例で運動量が減少したと回答された。

健康への影響としては、2例で治療を要しない程度の身体的不調を自覚しており、うち1例では治療を要しない程度の精神的ストレスや不安を感じていた。

新型コロナ肺炎の感染者や濃厚接触者はいなかった。

自由発言では、どうしようもない、怖い、早くワクチンができてほしい、罹ると皆に迷惑がかかるなど

外に、具体的に夫の葬式はできたが、仏事ができなかったなどのコメントや、食糧難に備え、米を買い、田畑を耕して野菜の種をまいたなどの前向きな発言もあった。

D. 考察

当院のスモン検診受診患者において、年齢相応の高齢者との比較はできていないが、新型コロナ肺炎の流行による医療やりハビリ、サービスへの影響は比較的少なかったように思われた。また治療や入院を要する身体的・精神的不調に陥った患者はいなかったが、これは重症度や介護度が比較的低い患者が多かったからと思われる。

しかし、新型コロナ肺炎の流行が長期化する見込みがあることより、感染予防に注意しながらも、なるべく通常の医療やりハビリを維持していくことが重要だと思われる。

参考までに、当院では筋ジストロフィー患者を対象に同様の調査を施行した。中間解析の結果では、これまで通りの受診を維持できていない方が多く、呼吸ケアや感染防御用品の調達にも影響があった。また軽症例ではリハビリなどを削減・中止する方が多く、重症例では、居宅サービスを削減する方もおられた。身体的・精神的不調を訴える回答も多かった。スモン検診を受診した患者の重症度・介護度が比較的 low、新型コロナ肺炎の影響が少なかったことと対照的と考えられた。

E. 結論

スモン検診を受診した7名について、新型コロナ肺炎が及ぼした影響の実態調査を施行した。一般の高齢者との比較はできていないが、医療やりハビリに若干の影響があり、半数で運動量が減ったものの、治療を要するような身体的精神的不調には至っていなかった。新型コロナ肺炎の感染者・濃厚接触者はいなかった。

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

I. 文献

- 1) Association of British Neurologists Guidance on COVID-19 for people with neurological conditions, their doctors and carers. Version 3, 22 March 2020
- 2) 小西哲郎, 大江田知子, 山川勇, 杉江和馬, 楠進, 豊岡圭子, 井上学, 坂口学, 狭間敬憲, 吉田宗平, 舟川格, 松本理器, 浅田留美子: 令和元 (R1) 年度近畿地区におけるスモン患者の検診結果: 厚生労働行政推進調査事業費補助金 (難治性疾患政策研究事業) スモンに関する調査研究 令和元年度総括・分担研究報告書 P 67-71